

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	生涯スポーツ
科目基礎情報						
科目番号	0064		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生産デザイン工学科 (共通科目)		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材						
担当教員	濱田 臣二,八嶋 文雄,大下 和茂					
到達目標						
1 選択した種目の運動技術を向上させることができる 2 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、協力して主体的に取り組むことができる 3 ルールやゲームの運営方法などを理解し、自己の役割に対する責任を果たしながら安全に留意して活動することができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	技術の名称や行い方を理解し、運動技術を向上させることができる		運動技術を身につけることができる		自主的に取り組むことができず運動技術の向上がみられない	
評価項目2	楽しさや喜びを深く味わうことができ、仲間と互いに協力して主体的に取り組むことができる		楽しさや喜びを味わうことができ、自主的に取り組むことができる		仲間と協力ができず積極的に取り組むことができない	
評価項目3	約束事を守り、安全に留意しながら互いに協力して自らの責任を果たすことができる		約束事を守り、安全に留意しながら自らの責任を果たすことができる		約束事を守ることができず、自己の責任を果たすことができない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 G① 健やかな心身を持ち、社会性、協調性を身に付ける。 学習・教育到達度目標 G② 社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。 JABEE SG① メンバーとして、自己のなすべき行動を判断し実行できる。 JABEE SG② リーダーとして、他者の取るべき行動を判断し、適切に行動させるように働きかけることができる。 準学士課程の教育目標 A① 数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する基礎を理解できる。 準学士課程の教育目標 G① 健やかな心身を持ち、社会性、協調性を身に付ける。 準学士課程の教育目標 G② 社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。 専攻科教育目標、JABEE学習教育到達目標 SG① メンバーとして、自己のなすべき行動を判断し実行できる。 専攻科教育目標、JABEE学習教育到達目標 SG② リーダーとして、他者の取るべき行動を判断し、適切に行動させるように働きかけることができる。						
教育方法等						
概要	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて持続的に運動ができる資質や能力を育てる。					
授業の進め方・方法	単元の特性や学生の実態に応じて、体育理論およびスポーツテストと関連づけて行う。また、必要に応じて視覚的教材も利用する。					
注意点	学校指定のウェア、シューズを準備すること。更衣、移動や休み時間内に完了すること。貴重品の管理は各自で行うこと（必要があれば活動場所に持参して担当教員に申し出ること）。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		2週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		3週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		4週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		5週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		6週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		7週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
		8週	種目選択 1 (ネット型・ベースボール型)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める	
	2ndQ	9週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		10週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		11週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		12週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		13週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		14週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		15週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	
		16週	種目選択 1 (種目替え)		バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める	

後期	3rdQ	1週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		2週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		3週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		4週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		5週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		6週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		7週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		8週	種目選択 2（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
	4thQ	9週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		10週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		11週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		12週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		13週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		14週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		15週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		16週	種目選択 2（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	

評価割合

	運動技能	発表	相互評価	協力的態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	40	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	40	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0